

## ジューシーなナスの新品種「サラダ紫」登場！

野菜作物研究部

神奈川県では、200 ha、5,000 t のナスが栽培・生産されていますが、収穫後そのままサラダで食べられる新たなナス品種が育成できれば、需要は一気に拡大するものと期待されます。

そこで、農業技術センターでは、平成 15 年から、株式会社サカタのタネと共同で、両親の優良形質を組み合わせる一代交雑手法を用いて、ジューシーなナスの新品種育成に取り組みました。120 系統を超える選抜・検定栽培の結果、現地試作でも高い評価を得た交雑系統を「サラダ紫」と命名し、品種登録出願を行いました。

「サラダ紫」の葉は濃い紫色で、普通のナスに比べて花が 4～5 花と多くつくのが特徴です。果実は巾着型で、果肉は極めて多汁質です。一般品種に比べ糖含量も多く、また、果実を切った後も変色しにくいので、そのままサラダ感覚で食べても大変おいしい、全く新しいタイプのナスです。

試作では食味の良さが消費者に高く評価され、生産者からも直売の目玉品目としてぜひ栽培したいという希望が多数寄せられました。ここで品種登録出願したので、平成 20 年度からは県内各地域で本格栽培に取り組む計画です。



サラダ紫

## 脚立作業からあなたを解放する「カキの平棚栽培」

果樹花き研究部

### 【カキ栽培をもっと安全に】

従来のカキの仕立て方は「開心自然形」「変則主幹形」などの立木仕立てであり、それが当たり前でした。近年のような高品質栽培においては、冬季の剪定を始め、大果安定生産を目指した摘蕾・受粉・摘果及び収穫作業では、脚立などを利用した高所作業が多いことから、作業効率、安全性の面から低樹高化が求められています。平棚栽培は低樹高化をより追求した技術です。



従来の脚立を使った収穫作業



平棚仕立てでの収穫作業

### 【効率的で安全な作業性】

農業技術センターでは、平成 15 年 1 月に立木仕立てから平棚仕立てに改造した「富有」において作業性を調査したところ、改造 4 年目の平成 18 年には、剪定作業、摘果作業時間が従来の 10% 減、収穫作業時間は約 40% も減少しました。さらに、立木仕立てでは脚立作業が 40～50% を占めていましたが、平棚仕立てでは、これがなくなり、作業の安全性が飛躍的に向上しました。

なお、改造後 4 年間の累積収穫量、着果数は立木仕立てに比較してそれぞれ 95%、92% でした。また、平棚栽培は大果で高品質な新品種「太秋」の栽培や近年大型化している台風被害の軽減に役立つものと期待されます。